

教育委員会事務の点検・評価
(令和2年度分報告書)

野々市市教育委員会

目 次

<u>1</u>	<u>教育委員会事務の点検・評価について</u>	1
	(1) 趣旨.....	1
	(2) 対象年度.....	1
	(3) 実施方法.....	1
<u>2</u>	<u>教育委員会会議及び活動状況</u>	3
	(1) 教育委員会会議の開催状況及び審議等事項.....	3
	(2) 教育委員会活動の概要.....	5
	(3) 自己評価.....	6
	(4) 学識経験者からの意見.....	7
	(5) 今後の方針.....	7
<u>3</u>	<u>事務事業所管課別点検評価</u>	8
	(1-1) 教育総務課所管事業.....	8
	(1-2) 学識経験者からの意見.....	22
	(1-3) 今後の方針.....	22
	(2-1) 学校教育課所管事業.....	23
	(2-2) 学識経験者からの意見.....	42
	(2-3) 今後の方針.....	42
	(3-1) 生涯学習課所管事業.....	43
	(3-2) 学識経験者からの意見.....	65
	(3-3) 今後の方針.....	65
	(4-1) 文化課所管事業.....	66
	(4-2) 学識経験者からの意見.....	86
	(4-3) 今後の方針.....	86
	(5-1) スポーツ振興課所管事業.....	87
	(5-2) 学識経験者からの意見.....	101
	(5-3) 今後の方針.....	101
<u>4</u>	<u>参考資料</u>	102
	(1) 野々市市教育委員会組織.....	102

1 教育委員会事務の点検・評価について

(1) 趣旨

野々市市教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、住民への説明責任を果たし、住民から信頼される教育行政のさらなる推進を目指して、令和2年度分についての教育行政事務の点検・評価を実施しました。

これらについての成果や課題を確認することで、今後の施策改善に反映させるとともに、具体的なそして効果的な教育行政の一層の推進を図ることとします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 対象年度

令和2年度に実施した教育委員会主管の主要な事務事業を点検・評価の対象とします。

(3) 実施方法

① 教育委員が直接に関与し、また活動している事項と教育長に委任する事務に区分整理し、点検・評価を行いました。

② 教育長に委任する事務については、教育委員会事務局各課の主要事務事業を、84項目の評価シートに抽出分類し、自己点検、自己評価を行いました。

自己評価については、評価シート毎に次のとおり7段階評価を行いました。

【評価基準（7段階評価）】

評価	内 容
A	拡大・重点化
B	改善
C	継続
D	縮小
E	終了・完了（今年度中）
F	統合（今年度中）
G	廃止（今年度中）

【今後の展開】

評価	内 容
↗	事業規模の拡大
→	事業規模の維持
↘	事業規模の縮小
×	当該年度には実施していない

③ 上記により取りまとめた評価シートを「教育総務課」、「学校教育課」、「生涯学習課」、「文化課」、「スポーツ振興課」という5つの課の事業に分類し、項目毎に客観的視点を確保するため、学識経験を有し、本市の教育行政にご理解のある次の方々に依頼し、ご意見をいただきました。

また、このご意見や点検・評価に基づいた今後に向けた改善・改革すべき事項を「今後の方針」として取りまとめ項目毎に記載しました。

(50音順・敬称略)

氏 名	公 職 等
板倉 順子	元小学校校長・元野々市市教育センター相談員
笠間 悟	元高等学校副校長・元石川県教育センター次長 野々市市民館長
西野 辰雄	野々市市スポーツ推進委員協議会会長

2 教育委員会会議及び活動状況

(1) 教育委員会会議の開催状況及び審議等事項

野々市市教育委員会は、「野々市市教育委員会会議規則」第3条の規定に基づき、以下のように12回の定例会及び4回の臨時会を開催しました。

また、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に規定される職務権限及び「野々市市教育委員会教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、以下のように審議しました。

教育委員会 会議開催日	定例会又 は臨時会 の別	議案番号	件名	報告 事項 件数
4月7日	臨時会	第8号議案	令和2年度教育委員会関係委員の委嘱について	1件
4月22日	定例会	第9号議案 第10号議案	令和2年度教育委員会関係委員の委嘱について 所管する学校に対する業務改善方針及び業務改善 計画の改定について	12件
5月14日	臨時会	第11号議案 第12号議案 第13号議案	令和元年度野々市市一般会計補正予算（3月31日 付け専決処分）教育費関係について 令和2年度野々市市一般会計補正予算（5月補正） 教育費関係について 野々市市教育委員会の書面会議について	0件
5月26日	定例会	第14号議案 第15号議案	令和2年度野々市市一般会計補正予算（6月補正） 教育費関係について 令和3年度使用教科書（中学校）採択方針につ いて	3件
6月24日	定例会		※報告案件のみ	2件
7月16日	臨時会	第16号議案	令和2年度野々市市一般会計補正予算（7月補正） 教育費関係について	2件
7月28日	定例会	第17号議案	野々市市喜多家住宅保存活用計画策定の諮問につ いて	4件
8月28日	定例会	第18号議案 第19号議案 第20号議案 第21号議案 第22号議案 第23号議案	令和2年度野々市市教育委員会表彰被表彰者選考 について 令和2年度野々市市一般会計補正予算（9月補正） 教育費関係について 野々市市重要文化財喜多家住宅条例について 負担付きの寄附の受納について 北国街道まちづくり基本計画策定の諮問について 令和3年度使用中学校用教科書採択について	3件

		第24号議案	財産の取得について	
9月23日	定例会	第25号議案	教育委員会事務の点検・評価（令和元年度分報告書）について	4件
10月1日	臨時会	第26号議案	事務委任の協議について	2件
10月27日	定例会	第27号議案	令和3年度野々市市立小中学校における教育課程編成及び実施の基本方針（案）について	6件
11月24日	定例会	第28号議案	令和2年度野々市市一般会計補正予算（12月補正）教育費関係について	5件
12月23日	定例会		※報告案件のみ	3件
1月26日	定例会	第1号議案	令和3年度の教育課程について	2件
2月26日	定例会	第2号議案 第3号議案 第4号議案 第5号議案 第6号議案	令和2年度野々市市一般会計補正予算（3月補正）（案）教育費関係について 令和3年度野々市市一般会計予算（案）教育費関係について 第3次野々市市教育ユニバーサルプラン策定の諮問について 事務委任の協議について 野々市市体育施設条例の一部を改正する条例について	9件
3月25日	定例会	第7号議案 第8号議案 第9号議案 第10号議案 第11号議案 第12号議案	令和3年度教育目標について 令和3年4月1日付け職員異動内示について 野々市市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 野々市市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する規程について 野々市市立学校管理規則の一部を改正する規則について 次世代育成支援対策の推進及び女性の活躍の推進に係る特定事業主行動計画の策定について	8件

(2) 教育委員会活動の概要

教育委員は、教育委員会議への出席の他、市議会や学校訪問、各種行事等に合計111回出席しました。

- ① 市議会関係 38回
 - ・本会議、教育福祉常任委員会等への出席
- ② 学校訪問、学校行事 22回
 - ・入学式、卒業式、学校計画訪問、学校公開、運動会等への出席
- ③ 会議、研修会 30回
 - ・県市町教育委員会連合会等教育長・教育委員代表者会議等への出席
- ④ 各種行事 21回
 - ・成人式、立志式、地区運動会等への出席

(3) 自己評価

教育委員会は独立した教育行政の執行機関との認識の中、委員それぞれの目線から現状の課題や問題、また、推進すべき事項等を委員会会議で慎重に審議しました。

委員会会議については定例会のほか、必要に応じ臨時会を開催し、主要案件等適切に事案を処理できたと思います。また、報告事項については、口頭のみでなく、文書や図面等を用いて時間の短縮を図り、詳細な内容の聴取や審議の時間を多くとるように努めました。

教育委員会会議の状況については、審議した議案等の情報や会議録を市のホームページに随時掲載し、委員会活動についての広報に努め、開かれた教育委員会づくりに取り組んでおります。

学校教育においては、継続して全小中学校長との個別懇談を実施し、学校の運営方針や学校が抱える問題等について意見交換を行いました。

また、積極的に学校訪問を行うことにより児童生徒を見守るとともに、授業参観や現場の教員との話しの中で各クラスの状況等を聞き、さらに管理職や主幹教諭・指導教諭等と懇談を行い、児童生徒に対する教育的課題や教師の教育指導方法などについての提言等を行い学校経営の向上をめざしました。

社会教育においては、顔の見える教育委員会として地区公民館の行事や教育委員会主催の講演会・スポーツ大会等に積極的に出席し、地域の状況や市民が求めているものの把握に努め、検討事項等を事務局へ提言しました。

コロナウイルス感染症の影響により例年よりも教育委員会活動の実施回数が減少しましたが、感染症対策に気を配りながら活動への参加を行いました。

市長と教育委員会とで構成する総合教育会議においては、少人数学級やコミュニティ・スクールの設置、教職員の多忙化解消などについて協議・調整し、市長との相互連携を深めました。

今後も、多様化する教育課題に真摯に向き合うとともに、市民が市教育行政に求めているものの理解に努め、市民のための教育行政の推進に努めて参りたいと思います。

(4) 学識経験者からの意見

新型コロナウイルス感染拡大に伴い会議、研修会、各種行事が中止となる中でも、学校訪問、学校行事等への出席はほぼ前年度どおりで、多様化する教育課題や学校教職員の多忙化の実態についても継続的に把握し、教育環境の改善に繋げていただいている点は多いに評価できると考えます。

審議した議案の情報や会議録を随時市のホームページに掲載し、委員会活動の広報に努めていると感じます。これからも市民のために「開かれた教育委員会づくり」に取り組んでいただきたいと思います。

今後も、少人数学級やコミュニティ・スクールの設置、教職員の多忙化解消等に関しての調査・研究を進め、子どもたちや教職員のことを考えた教育施策を展開していただきたいと思います。

(5) 今後の方針

教育委員会会議については、さまざまな問題を十分審議し会議の内容の充実を図るとともに、会議の概要や会議録について今後も迅速に市ホームページに掲載し、開かれた教育委員会、顔の見える教育委員会として市民の皆様の理解を得るよう努めていきます。

地域や学校現場に継続して足を運び、児童生徒の様子や地域の様子を把握するとともに、教職員との対話を通して感じた課題や改善点については関係機関が一体となって対応していきます。

今年度導入する、統合型校務支援システムについては、令和4年度からの本格稼働をめざすなど、学校教職員の多忙化改善に向けた取り組みを進めていきます。

また、教育行政の中長期的な方向性を示した「野々市市教育ユニバーサルプラン」について、令和3年度をもって計画期間が満了することから、現在新しい計画の策定作業を進めております。現行プランの具現化に向け、家庭・地域・学校と連携を図りながら全力で取り組んで参ります。

3 事務事業所管課別点検評価

(1-1) 教育総務課所管事業

1. 教育委員会費	9
2. 教育委員会表彰事業	10
3. 一般事務（教育総務課分）	11
4. 事務局小学校管理費（教育総務課分）	12
5. 野々市小学校PFI事業	13
6. 小学校管理事業（各小学校執行分）	14
7. 就学援助費（小中学校）	15
8. 特別支援教育就学奨励費（小中学校）	16
9. 事務局中学校管理費（教育総務課分）	17
10. 中学校管理事業（各中学校執行分）	18
11. 校内通信ネットワーク整備事業	19
12. 小学校給食センターPFI事業	20
13. 給食センター運営事業	21

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		教育委員会費			所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課	
事業の概要	総合計画 該当施策	8 住み続けたい！をみんなの声でつくるまち【行財政運営】 3 安定した行財政運営の推進 4 教育委員会施策の推進と評価			区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(1) 家庭教育、子育て支援の充実				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし				単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が教育長及び教育委員5名に		事業の目的	教育委員会の職務を遂行するため。			
事業の内容	教育委員の職務に対する報酬（非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例に規定されたもの）及び旅費の支払い。		令和 2年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議の開催 ・学校訪問 ・教職員との懇談 ・公民館やスポーツ等地域活動への参加 				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	教育委員会を開催		回	14	14	14	16
		学校訪問		回	24	23	24	22
事業のコスト	事業費	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算		
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0		
		県支出金 (千円)	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0			
		一般財源 (千円)	2,498	2,195	2,199			
		事業費計 (千円)	2,498	2,195	2,199			

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議の開催 ・学校訪問 ・教職員との懇談 ・地域活動への参加 ・各種研修会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議の開催 ・学校訪問 ・教職員との懇談 ・地域活動への参加 ・各種研修会への参加 ・先進地視察 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議の開催 ・学校訪問 ・教職員との懇談 ・地域活動への参加 ・各種研修会への参加

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の 方向性	理由	教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められており、適正に委員会の運営が行われている。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		「開かれた教育委員会」、「目に見える教育行政」を目指し、今後も運営していくことが必要である。	

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		教育委員会表彰事業				所管	部	教育文化部		
							課	教育総務課		
事業の概要	総合計画 該当施策	0 該当なし				区分	自治事務			
							ソフト事業			
							単独事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(1) 「確かな学力」を身に付けた児童・生徒の育成								
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度			
					事業終了	**	年度			
	実施根拠となる 分野別計画	該当なし		根拠法令	該当なし					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市教育委員会が教育、文化、スポーツ及び青少年の健全育成において、顕著な功績や振興があったと認められる個人又は団体に		事業の目的	野々市市の教育の振興及び発展に資することを目的とする。					
	事業の内容	毎年1回、文化の日に表彰を実施。		令和 2年度活動実績	表彰式 教育功労表彰 2名 教育振興表彰 11名					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	表彰式			回	1	1	1	1	
事業のコスト	事業費	区分			平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	0	0	0				
		一般財源	(千円)	287	153	484				
		事業費計	(千円)	287	153	484				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	文化の日に表彰式を実施。	文化の日に表彰式を実施。	文化の日に表彰式を実施。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の 方向性	理由	野々市市の教育・文化・スポーツの振興及び青少年の健全育成に寄与。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等) 野々市市の教育・文化・スポーツの振興及び青少年の健全育成に寄与。			

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		一般事務（教育総務課分）				所管	部	教育文化部	
						課	教育総務課		
事業の概要	総合計画 該当施策	2 生涯健康 心のかよふ福祉のまち【福祉・保健・医療】 4 子育て支援の推進 1 子どもを産み育てやすい環境づくり				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標2 家庭・地域社会での教育の推進 基本的施策(1) 家庭教育、子育て支援の充実					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	子ども・子育て支援法 野々市市子ども・子育て支援法施行細則				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内から幼稚園に通園する園児の保護者に (子育てのための施設等利用給付費)		事業の目的	一人一人の子どもが健やかに成長することができる社会の実現に 寄与することを目的とする。(子育てのための施設等利用給付 費)				
事業の内容	幼稚園に係る保育料を野々市市が保護者の代わりに幼稚園に対し 支払う。(子育てのための施設等利用給付費)		令和 2年度活 動実績	対象幼稚園数 18園 支給対象者数 460人 支給額(基本保育料) 117,689,580円 支給額(預かり保育料) 3,237,700円 (子育てのための施設等利用給付費)					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	子育てのための施設等利用給付対象人数			人	-	474	460	450
事業の コスト	事業 費	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算		
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	42,040	59,990		60,850		
			県支出金 (千円)	17,495	30,336		30,925		
			地方債 (千円)	0	0		0		
			その他 (千円)	200	0		0		
			一般財源 (千円)	33,884	30,601		36,609		
			事業費計 (千円)	93,619	120,927		128,384		

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	幼児教育無償化 ■保育料 25,700円×12月×360人≒111,000,000円 ■預かり保育料 6,000円×12月×100人 ≒7,200,000円	幼児教育無償化 ■保育料 25,700円×12月×360人≒111,000,000円 ■預かり保育料 6,000円×12月×100人 ≒7,200,000円	幼児教育無償化 ■保育料 25,700円×12月×360人≒111,000,000円 ■預かり保育料 6,000円×12月×100人 ≒7,200,000円

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由 幼児教育の無償化事業(令和元年10月から施行)を引き続き実施し、子育てがしやすい環境を整える必要がある。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		幼児教育の無償化事業(令和元年10月から施行)を引き続き実施し、子育てがしやすい環境を整える必要がある。	

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		事務局小学校管理費（教育総務課分）				所管	部	教育文化部		
							課	教育総務課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ハード・ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	教育基本法 学校教育法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市立小学校施設、児童に		事業の目的	小学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。小学校の備品、消耗品の配備。					
事業の内容	小学校施設の修繕、改修工事。学校備品の配備。水質検査。室内空気環境測定。害虫、鳥獣の駆除。電気設備・消防設備・プール設備・エレベーターの保守。施設用地の借上。		令和 2年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 菅原小学校体育館更衣室換気扇修繕、富陽小学校放送設備修繕等 電気、消防設備、プール設備、昇降機等の保守 他 						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	学校施設修繕・改修工事件数			件	-	45	46	43	
事業のコスト	事業費	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算				
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	40,691	0				
		県支出金 (千円)	0	0	0					
		地方債 (千円)	0	0	0					
		その他 (千円)	0	0	0					
		一般財源 (千円)	102,498	50,242	42,503					
		事業費計 (千円)	102,498	90,933	42,503					

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査等、各種点検 電気、消防、プール設備、昇降機の保守 他 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査等、各種点検 電気、消防、プール設備、昇降機の保守 他 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査等、各種点検 電気、消防、プール設備、昇降機の保守 他

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の 方向性	理由	建物、設備、管理備品等の経年劣化により修繕や更新が見込まれる。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		事後保全ではなく予防保全を行っていくため、必要な予算を確保する必要がある。	

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		野々市小学校PFI事業				所管	部	教育文化部		
							課	教育総務課		
事業の概要	総合計画 該当施策	0 該当なし				区分	自治事務			
							ハード・ソフト事業			
							補助事業			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実				事業の開始・終了年度				
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業開始	平成16	年度		
					事業終了	平成37	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	教育基本法 学校教育法						
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が野々市小学校施設・児童に		事業の目的	老朽化した野々市小学校の改築をPFI手法で行い、民間事業者の技術や創意工夫を最大限活用することにより、児童に対し充実した学校環境を提供し、また財政負担の軽減を図る。						
事業の内容	PFI手法により老朽化した野々市小学校の改築及びその後の15年間の維持管理も含めた業務を実施するもの。		令和 2年度活動実績	小学校の維持管理業務の実施（月1回の定例維持管理会議の開催） 維持管理業務、施設整備費（割賦払い分）の支出						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	野々市小学校8棟の耐震化率			%	100	100	100	100	
		VFM (Value For Money)			%	15	15	15	15	
事業のコスト	事業費	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
		財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0		0		
			県支出金	(千円)	0	0		0		
			地方債	(千円)	0	0		0		
			その他	(千円)	0	0		0		
			一般財源	(千円)	78,227	78,642		77,257		
			事業費計	(千円)	78,227	78,642		77,257		

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	事業契約に基づく維持管理業務の実施	事業契約に基づく維持管理業務の実施	事業契約に基づく維持管理業務の実施

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の 方向性	理由	H20.8.26締結の事業契約に基づき事業を維持するため。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		該当なし	

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		小学校管理事業（各小学校執行分）				所管	部	教育文化部		
							課	教育総務課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり				区分	内部管理事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	教育基本法 学校教育法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市立小学校5校に		事業の目的	小学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。消耗品等の配備。					
事業の内容	学校施設を維持管理、運営するための費用の支払い。		令和 2年度活 動実績	学校校務員の旅費支給。 学校施設の修繕。 光熱水費、燃料費、コピー使用料等の支払い。 各種消耗品、医薬品の配備。 その他一般管理。						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない			-	-	-	-	-	
事業の コスト	事業費	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0				
		県支出金 (千円)	0	0	0					
		地方債 (千円)	0	0	0					
		その他 (千円)	0	0	0					
		一般財源 (千円)	13,090	56,856	58,016					
		事業費計 (千円)	13,090	56,856	58,016					

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学校校務員の旅費支給。 学校施設の修繕。 光熱水費、燃料費、コピー使用料等の支払い。 各種消耗品、医薬品の配備。 その他一般管理。	学校校務員の旅費支給。 学校施設の修繕。 光熱水費、燃料費、コピー使用料等の支払い。 各種消耗品、医薬品の配備。 その他一般管理。	学校校務員の旅費支給。 学校施設の修繕。 光熱水費、燃料費、コピー使用料等の支払い。 各種消耗品、医薬品の配備。 その他一般管理。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の 方向性	理由	学校の管理運営上必要な業務であり、今後も維持継続が必要である。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		適切な学校運営のために必要な学校管理、物品の配備等を行う。	

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		就学援助費（小中学校）				所管	部	教育文化部		
							課	教育総務課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 1 知・徳・体のバランスが取れた教育の充実 1 確かな学力をはぐくむ教育の推進				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(1) 「確かな学力」を身に付けた児童・生徒の育成					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	学校教育法第19条						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が①生活保護法に規定する要保護者②要保護者に準ずる程度に困窮している保護者（準要保護者）に		事業の目的	経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るため。					
事業の内容	援助項目：学用品費、通学用品費（1年生除く）、新入学用品費（1年生のみ）、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、体育実技用具費（柔道着）（中学校就学期間中1回に限る）、日本スポーツ振興センター掛金。		令和 2年度活動実績	支給対象保護者への給付。						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	支給決定児童生徒数			人	-	494	501	471	
事業のコスト	事業費	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算				
		財源内訳	国庫支出金	(千円)	86	0	30			
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	0	0	0				
		一般財源	(千円)	43,151	41,000	45,670				
		事業費計	(千円)	43,237	41,000	45,700				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の 方向性	理由	経済的理由による就学機会の格差是正を図るため、継続して実施することが必要である。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		今後も制度の周知を徹底し、必要な児童生徒保護者へ援助を行う。	

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		特別支援教育就学奨励費（小中学校）				所管	部	教育文化部	
							課	教育総務課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 1 知・徳・体のバランスが取れた教育の充実 1 確かな学力をはぐくむ教育の推進				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(1) 「確かな学力」を身に付けた児童・生徒の育成					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が①特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者②特別支援学校の就学対象となる障害の程度を有しながら通常の学級に就学する児童生徒の保護者に		事業の目的	保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図る。				
事業の内容	援助品目：学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費（1年生のみ）、校外活動費、修学旅行費、学校給食費。		令和 2年度活動実績	支給対象保護者への給付。					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	成果指標	支給決定児童生徒数			人	-	36	43	45
事業のコスト	事業費	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	713	835	1,008			
		県支出金 (千円)	0	0	0				
		地方債 (千円)	0	0	0				
		その他 (千円)	0	0	0				
		一般財源 (千円)	2,148	2,508	3,012				
		事業費計 (千円)	2,861	3,343	4,020				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。	支給対象保護者への給付。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の 方向性	理由	教育の機会均等の趣旨と障害のある生徒の特殊事業を考慮し、継続して実施することが必要である。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		今後も制度の周知を徹底し、必要な児童生徒保護者へ援助を行う。	

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		事務局中学校管理費（教育総務課分）				所管	部	教育文化部		
							課	教育総務課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ハード・ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	教育基本法 学校教育法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市立中学校施設、生徒に		事業の目的	中学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。中学校の備品、消耗品の配備。					
事業の内容	中学校施設の修繕、改修工事。学校備品の配備。水質検査。室内空気環境測定。害虫・鳥獣の駆除。電気設備・消防設備・プール設備・エレベーターの保守。施設用地の借上。		令和 2年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 野々市中学校換気扇修繕、布水中学校換気扇修繕等 電気、消防設備、プール設備、エレベーター等の保守、他 						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	学校施設修繕・改修工事件数			件	-	35	23	25	
事業のコスト	事業費	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	17,396		0			
			県支出金 (千円)	0	0		0			
			地方債 (千円)	0	0		0			
			その他 (千円)	23	0		0			
			一般財源 (千円)	78,901	50,703		46,244			
			事業費計 (千円)	78,924	68,099		46,244			

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査等、各種点検 電気、消防、プール設備、昇降機の保守 他 布水中学校増築工事設計 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査等、各種点検 電気、消防、プール設備、昇降機の保守 他 布水中学校増築工事、監理 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕や改修工事 水質検査等、各種点検 電気、消防、プール設備、昇降機の保守 他

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の 方向性	理由	建物、設備、管理備品等の経年劣化により修繕や更新が見込まれる。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		事後保全ではなく予防保全を行っていくため、必要な予算を確保する必要がある。	

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		中学校管理事業（各中学校執行分）				所管	部	教育文化部		
							課	教育総務課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり				区分	内部管理事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	教育基本法 学校教育法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市立中学校2校に		事業の目的	中学校施設の健全性の確保。衛生面の維持。消耗品等の配備。					
事業の内容	学校施設を維持管理、運営するための需用費などの支払等。		令和 2年度活 動実績	学校校務員の旅費支給。 学校施設の修繕。 光熱水費、燃料費、コピー使用料等の支払い。 各種消耗品、医薬品の配備。 その他一般管理。						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない。			-	-	-	-	-	
事業の コスト	事業費	区分		平成31年度	令和 2年度		令和 3年度予算			
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0				
		県支出金 (千円)	0	0	0					
		地方債 (千円)	0	0	0					
		その他 (千円)	0	0	0					
		一般財源 (千円)	7,537	26,878	26,704					
		事業費計 (千円)	7,537	26,878	26,704					

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学校校務員の旅費支給。 学校施設の修繕。 光熱水費、燃料費、コピー使用料等の支払い。 各種消耗品、医薬品の配備。 その他一般管理。	学校校務員の旅費支給。 学校施設の修繕。 光熱水費、燃料費、コピー使用料等の支払い。 各種消耗品、医薬品の配備。 その他一般管理。	学校校務員の旅費支給。 学校施設の修繕。 光熱水費、燃料費、コピー使用料等の支払い。 各種消耗品、医薬品の配備。 その他一般管理。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の 方向性	理由	学校の管理運営上必要な業務であり、今後も維持継続が必要である。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		適切な学校運営のために必要な学校管理、物品の配備等を行う。	

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		校内通信ネットワーク整備事業				所管	部	教育文化部		
							課	教育総務課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(5) 地域に根ざした学校づくり					ハード事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業			
	実施根拠となる 分野別計画	学校教育の情報化の推進に関する法律		根拠法令	学校教育の情報化の推進に関する法律					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市内小中学校の児童生徒に		事業の目的	教育環境の改善を図る。					
事業の内容	文部科学省が提唱する「GIGAスクール構想」の実現に向け、市内小中学校の通信ネットワークにおいて高速大容量の接続が可能な教育環境整備を行うもの。		令和 2年度活動実績	市内全小中学校で高速大容量なLAN環境を整備し、各教室に端末保管用充電保管庫を設置した。						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	*			*	*	*	*	*	
事業のコスト	事業費	区分		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算				
		財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	47,611	0				
		県支出金 (千円)	0	0	0					
		地方債 (千円)	0	72,600	0					
		その他 (千円)	0	0	0					
		一般財源 (千円)	0	3,611	0					
		事業費計 (千円)	0	123,822	0					

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	×	×	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	令和 2年度で事業終了。	令和 2年度で事業終了。	令和 2年度で事業終了。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了 (今年度中) F 統合 (今年度中) G 廃止 (今年度中)	理由	令和 2年度で事業完了のため。
	未評価	E			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		令和 2年度で事業完了のため。		

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		小学校給食センターPFI事業				所管	部	教育文化部		
							課	教育総務課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適した学校環境づくり				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(4) 教育環境の充実					ハード・ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	学校給食法					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が児童に		事業の目的	各小学校給食施設の老朽化と新しい衛生管理基準への対応のため、小学校給食調理場の一元化を行う。また、PFI手法により民間の資金、経営能力の活用を図り、良好な施設整備や事業コストの削減を図る。					
事業の内容	小学校の給食センターの建設及び既存給食センターを含めた給食提供の運営及び施設の維持管理の業務をPFI手法により一体的に事業契約を行い実施するもの。		令和 2年度活動実績	市内7小中学校へ、安全・安心でおいしい給食の提供。毎月1回維持管理会議を行い、報告及び意見交換を行う。						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	新給食センター施設整備延床面積			m ²	1,830	-	-	-	
		VFM (Value For Money)			%	6.4	6.4	6.4	6.4	
事業のコスト	事業費	財源内訳	区分	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算				
			国庫支出金 (千円)	0	0	0				
			県支出金 (千円)	0	0	0				
			地方債 (千円)	0	0	0				
			その他 (千円)	0	0	0				
			一般財源 (千円)	180,458	182,231	191,497				
			事業費計 (千円)	180,458	182,231	191,497				

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	事業により実施する施設整備・運営事業を除くPFI管理運営	事業により実施する施設整備・運営事業を除くPFI管理運営	事業により実施する施設整備・運営事業を除くPFI管理運営

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の 方向性	理由	H24.9.25締結の事業契約に基づき事業を実施するため。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		該当なし	

令和 3年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 2年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		給食センター運営事業				所管	部	教育文化部		
							課	中学校給食センター		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 2 家庭、地域、学校の連携強化と開かれた学校づくり 2 時代の変化に適合した学校環境づくり				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標1 学校での教育の推進 基本的施策(5) 地域に根ざした学校づくり					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	学校給食法第9条						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市立小・中学校の児童・生徒・教職員に		事業の目的	安全で栄養バランスがよく美味しい給食を提供するために必要な施設の管理運営、消耗品・備品配備を行う。					
	事業の内容	学校給食衛生管理基準に基づき、安全で栄養バランスがよく美味しい給食を、小学校は約3,600食/日、中学校は約1,500食/日提供する。		令和 2年度活動実績	エレベータ・電気設備・消防設備・空調設備・調理設備等の保守点検及び修繕、職員及び施設の細菌検査（PFI事業で実施するものを除く）					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない。			-	-	-	-	-	
事業のコスト	事業内訳	区分	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度予算					
		国庫支出金 (千円)	0	1,632	0					
		県支出金 (千円)	0	0	0					
		地方債 (千円)	12,500	0	0					
		その他 (千円)	0	0	0					
		一般財源 (千円)	68,043	58,619	55,646					
		事業費計 (千円)	80,543	60,251	55,646					

実施計画

年度計画	区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	学校給食センター運営、維持管理業務実施	学校給食センター運営、維持管理業務実施	学校給食センター運営、維持管理業務実施

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	安全・安心な学校給食の充実を図るため、施設設備の管理は徹底して行う必要がある。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		該当なし		

・(1-2) 学識経験者からの意見

新型コロナウイルスへの対策として、各学校の手洗い場の自動水栓化や、サーキュレーターの配置、先生方へのハンズフリーマイクの配備等、安全安心な教育環境づくりに取り組んでいることが評価できます。

就学援助費、特別支援教育就学奨励費は義務教育の円満な実施、経済的理由による就学機会の格差是正を図るために必要な事業であり、今後も制度の周知徹底に努めていただきたいと思います。また、家庭の経済的負担を軽減する入学準備支援金は実生活に即した心配りのある制度であり、今後も継続していただきたいと思います。

「GIGA スクール構想」の実現に向け、全小中学校で高速大容量 LAN 環境を整備したり、各教室に端末保管用充電保管庫を設置したりと、ハード面で迅速に学校教育を支えている姿勢は素晴らしいと感じます。今後は、こうした環境のより一層の充実・拡充に努めていただきたいと思います。

・(1-3) 今後の方針

- ① 就学援助費及び特別支援教育就学奨励費については、引き続き、市内の小中学校に在籍する全ての児童・生徒に申請書を配布するなどし、制度の周知徹底を図っていきます。
- ② 児童・生徒の増加に伴う教室不足については、児童・生徒数の推移を慎重に見極めながら、増築等適切な対応を行っていきます。
- ③ 給食費の公会計化については、導入にかかる諸課題について調査研究し、早期の導入をめざします。